

# 農作物病害虫発生現況情報（7月） りんご編

## 1 斑点落葉病

- (1) 基準圃場（北上市成田、スターキングデリシヤス、無防除）では、初発生は6月第1半旬であった。新梢葉では6月第3半旬から第4半旬にかけて急増し、6月第6半旬から7月第2半旬にかけて増加した（図1）。
- (2) 7月後半の巡回調査でのふじでの発生園地率は64.5%（平年44.5%）で平年より高かった（図2）。

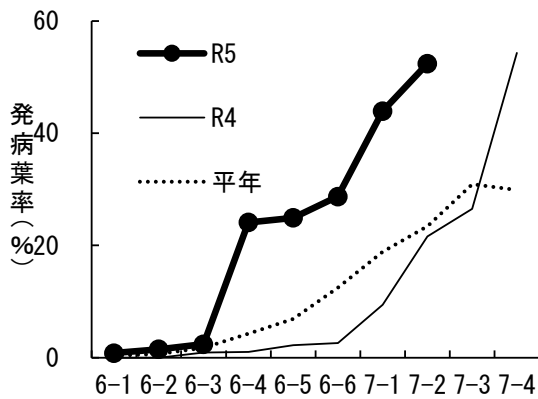


図1 基準圃場における斑点落葉病の発病葉率の推移  
（月-半旬、スターキングデリシヤス、新梢葉）

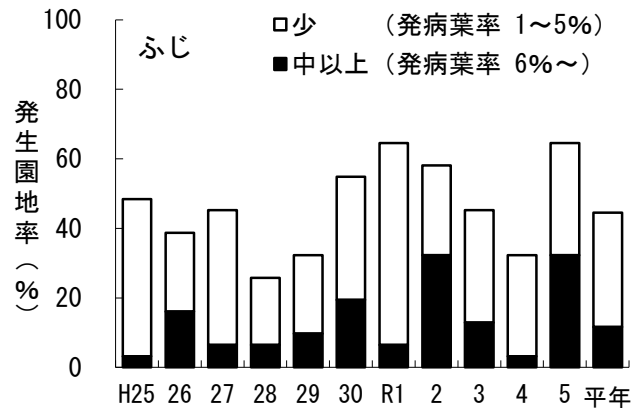


図2 斑点落葉病の発生園地率の年次推移  
（ふじ、7月後半、徒長枝上位10葉）

## 2 黒星病

- (1) 7月後半の巡回調査では、発生園地率は25.8%（平年10.0%）で平年よりやや高かった（図3）。
- (2) 地域別では、県中部で発生が確認された（図4）。

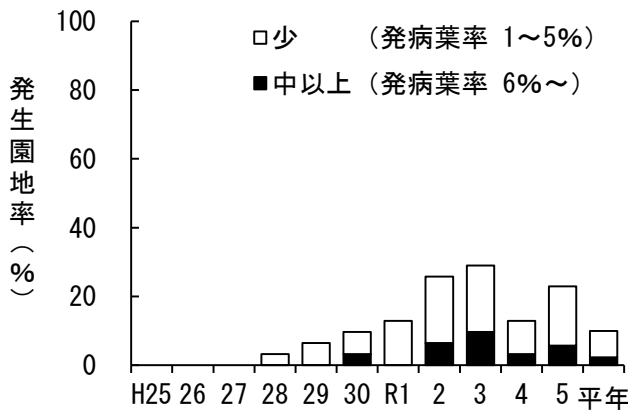


図3 黒星病の発生園地率の年次推移  
（7月後半、徒長枝葉）

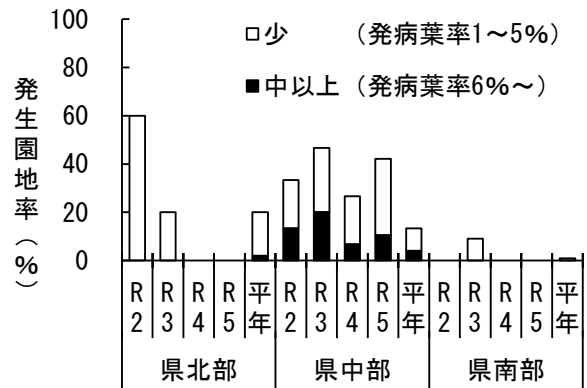


図4 黒星病の地域別発生園地率  
（7月後半、徒長枝葉）

## 3 褐斑病

- (1) 7月後半の巡回調査では、発生園地率は35.5%（平年8.1%）で平年より高かった（図5）。
- (2) 地域別では、県中部及び県南部で発生が確認された（図6）。

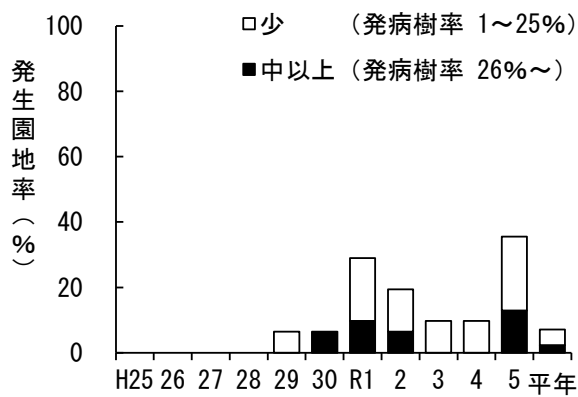


図5 褐斑病の発生園地率の年次推移 (7月後半)

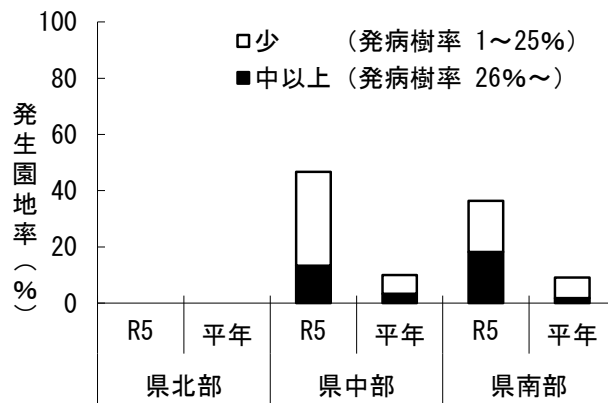


図6 褐斑病の地域別発生園地率 (7月後半)

#### 4 キンモンホソガ

(1) 7月後半の巡回調査でのキンモンホソガ第2世代の発生園地率は19.4% (平年5.8%) で、平年より高かった (図7)。

#### 5 ギンモンハモグリガ

(1) 7月後半の巡回調査でのギンモンハモグリガ第3世代の発生は確認されなかった (平年14.2%、図8)。

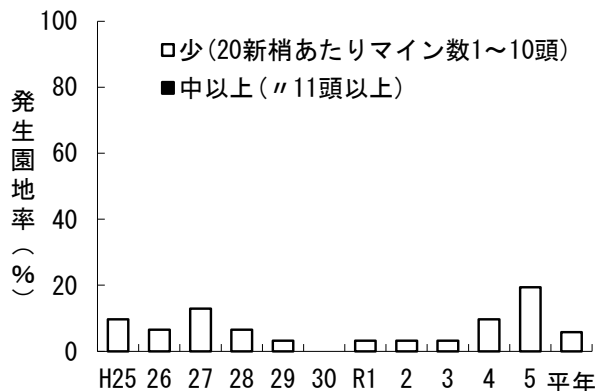


図7 キンモンホソガ第2世代の発生園地率の年次推移 (7月後半)

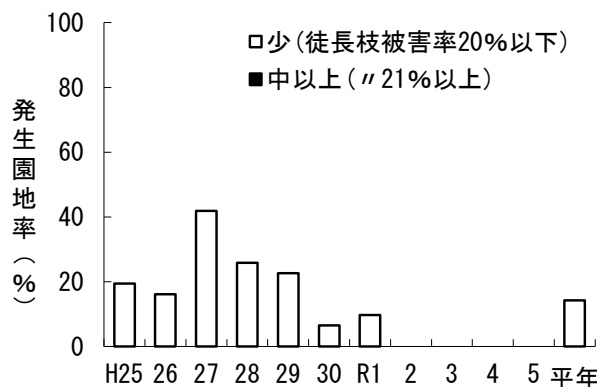


図8 ギンモンハモグリガ第3世代の発生園地率の年次推移 (7月後半)

#### 6 リンゴハダニ

(1) 7月後半の巡回調査での発生園地率は48.4% (平年22.9%)、発生程度が中以上の園地は16.1% (平年6.5%) で、ともに平年より高かった (図9)。

(2) 地域別では、発生程度の中以上の園地率は、県北部及び県中部で平年より高かった (図10)。

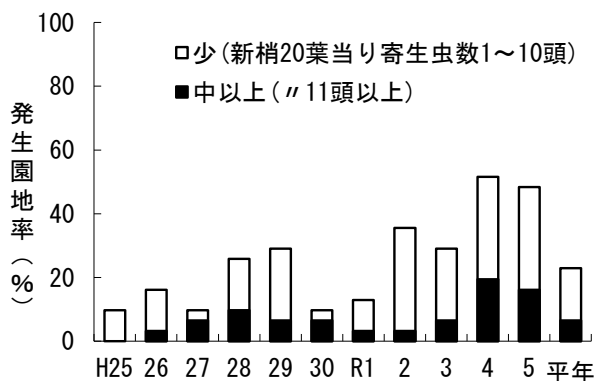


図9 リンゴハダニの発生園地率の年次推移 (7月後半)

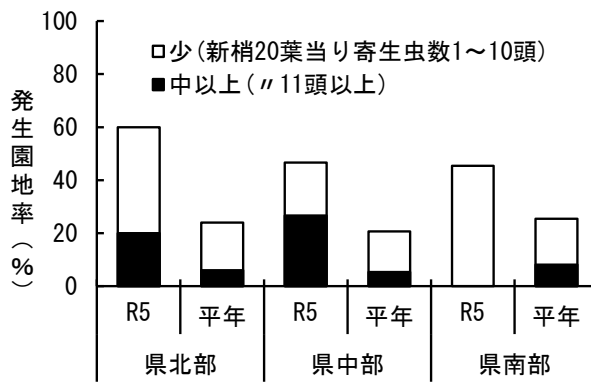


図10 リンゴハダニの地域別発生園地率 (7月後半)

## 7 ナミハダニ

- (1) 7月後半の巡回調査での発生園地率は41.9% (平年39.1%) で、平年並であった。また、発生程度が中以上は22.6% (平年13.7%) で、平年よりやや高かった (図11)。
- (2) 地域別では、発生程度の中以上の園地率は、県北部及び県中部で平年より高かった (図12)。

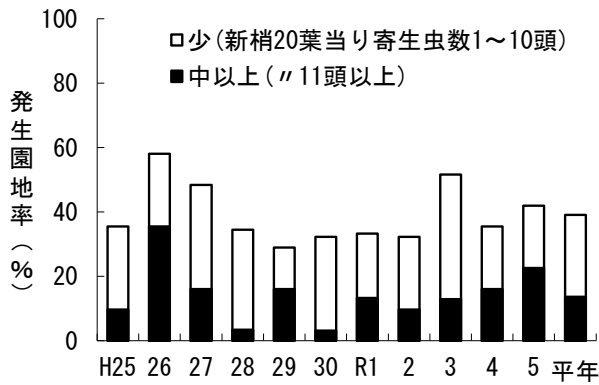


図11 ナミハダニの発生園地率の年次推移 (7月後半)

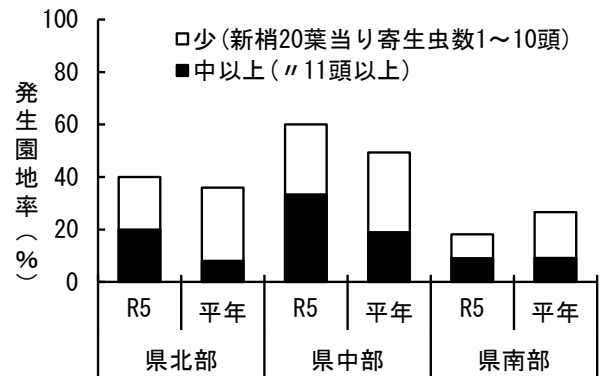


図12 ナミハダニの地域別発生園地率 (7月後半)

## 8 シンクイムシ類

- (1) 7月後半の巡回調査でのシンクイムシ類の被害果率は6.5% (平年0.3%) であった (図13)。

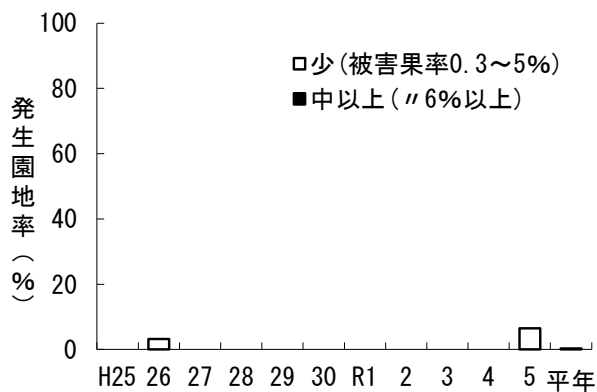


図13 シンクイムシ類の発生園地率の年次推移 (7月後半)

## 9 果樹カメムシ類

- (1) 7月後半の巡回調査での被害果発生園地率は22.6%（平年31.0%）で、平年並だった（図14）。
- (2) 被害果の時期別発生園地率は、7月後半に発生程度中以上の園地率が増加した（図15）。
- (3) 集合フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、基準圃場（北上市成田：無防除）では、7月第1半旬以降、平年より低く推移したが、7月第5半旬にやや多く誘殺された。現地園地（盛岡市川目）の誘殺数は、7月第2半旬まで平年並に推移していたが、7月第3半旬に急増した（図16）。
- (4) 予察灯へのクサギカメムシの誘殺数は、平年並に推移している（図17）。

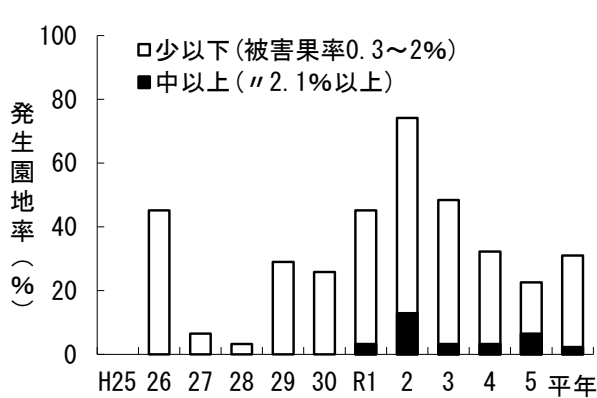


図14 果樹カメムシ類被害果の発生園地率の年次推移（7月後半、ふじ）

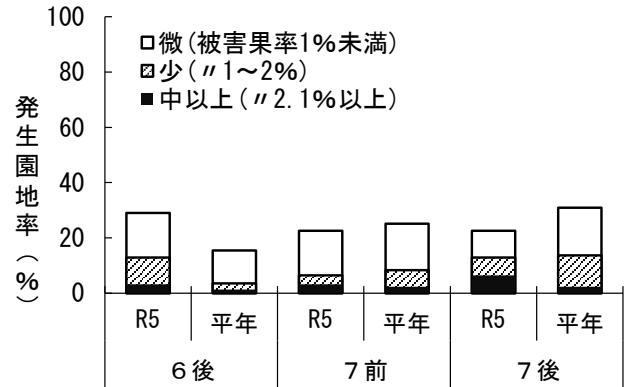


図15 果樹カメムシ類被害果の時期別発生園地率の推移（ふじ）

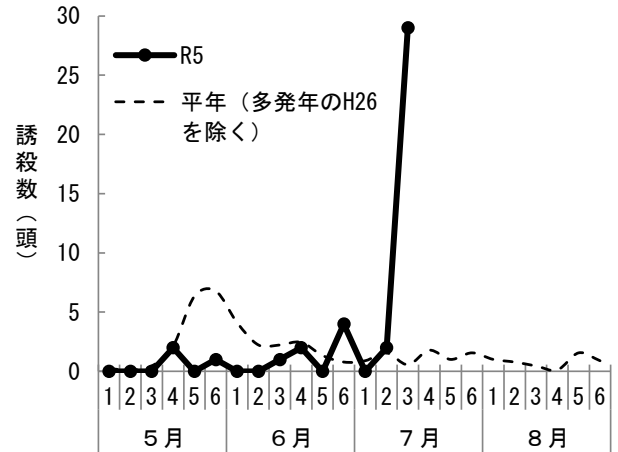
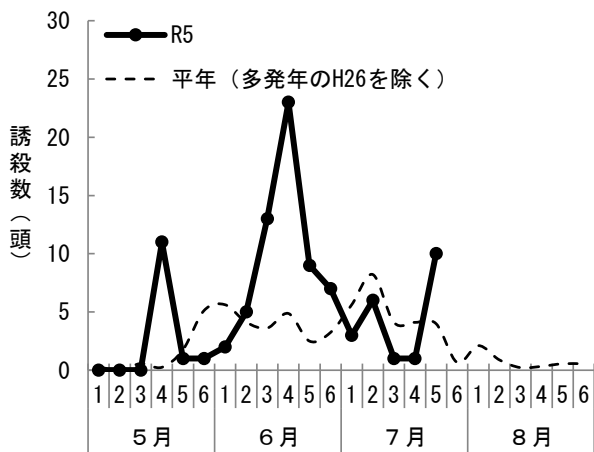


図16 チャバネアオカメムシの集合フェロモントラップでの誘殺状況（左：基準圃場（北上市成田）、右：盛岡市川目）

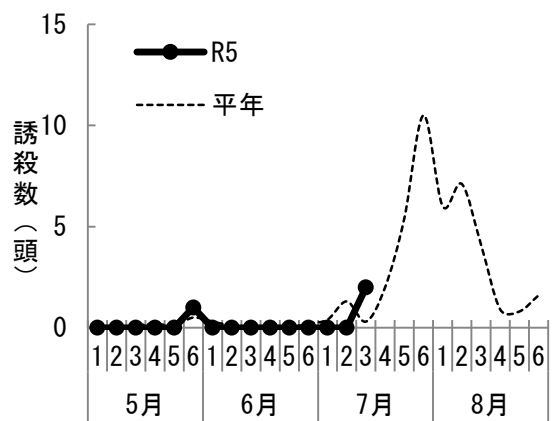
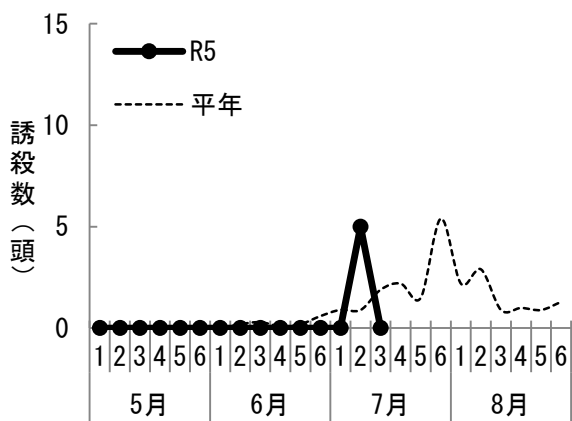


図17 クサギカメムシの予察灯への誘殺状況（左：北上市成田、右：盛岡市川目）